

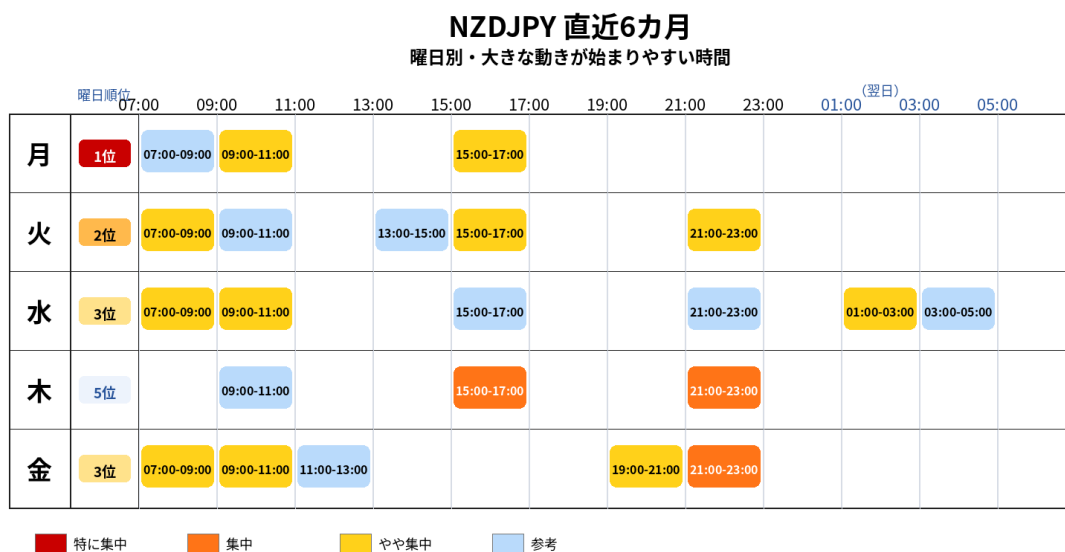
NZDJPY 直近 6 カ月

曜日別・時間帯別 値動き傾向レポート

2026.08.23 調査

結論

- 大きく動いた日の頻度が最も高かったのは月曜（34.6%）です。
- 月曜では、09:00-11:00、15:00-17:00 が比較的に目立ちました。07:00-09:00 は週明け直後を含むため参考程度に見ます。
- 木曜の 15:00-17:00、21:00-23:00 は、時間帯の偏りが比較的はっきりしています。曜日順位と合わせて優先度を考えると使いやすくなります。
- この資料は「上がる・下がる」を予測するものではなく、チャートを見る曜日・時間を絞るための判断材料です。



見方 色が濃いほど、その曜日の中で「大きな動きの始まり」が集まりやすかった時間です。
月曜07:00-09:00は週明け直後を含むため、色が付いていても参考程度に見てください。

対象 直近6カ月 / 日本時間07:00-翌07:00を1日として集計
曜日順位は「大きく動いた日」が多かった順です。

図 1 曜日ごとの注目時間と曜日順位

1. 曜日ランキング

大きく動いた日の発生頻度を、月曜から金曜で比較しています。同率の場合は同じ順位です。

順位	曜日	大きく動いた日	発生頻度
1位	月曜	9/26日	34.6%
2位	火曜	7/26日	26.9%
3位	水曜	6/26日	23.1%
3位	金曜	6/26日	23.1%
5位	木曜	5/26日	19.2%

曜日だけで判断せず、次ページの時間帯と組み合わせて見るのがポイントです。

2. 曜日ごとの注目時間

月曜（1位） 09:00-11:00、15:00-17:00 が比較的目立ちました。07:00-09:00 は週明け直後を含むため、通常の時間帯とは分けて参考程度に見ます。

火曜（2位） 07:00-09:00、15:00-17:00、21:00-23:00 が比較的目立ちました。

水曜（3位） 07:00-09:00、09:00-11:00、01:00-03:00 が比較的目立ちました。

木曜（5位） 15:00-17:00、21:00-23:00 が比較的目立ちました。

金曜（3位） 21:00-23:00、07:00-09:00、09:00-11:00、19:00-21:00 が比較的目立ちました。

※ 月曜 07:00-09:00 は週明け直後を含むため、ほかの時間帯と同じ意味では扱いません。

3. 時間帯の偏りを一目で見る

下の図は、各曜日で大きな動きが始まった時間を2時間ごとに数えたものです。数字が大きいほど、その時間に集中していました。

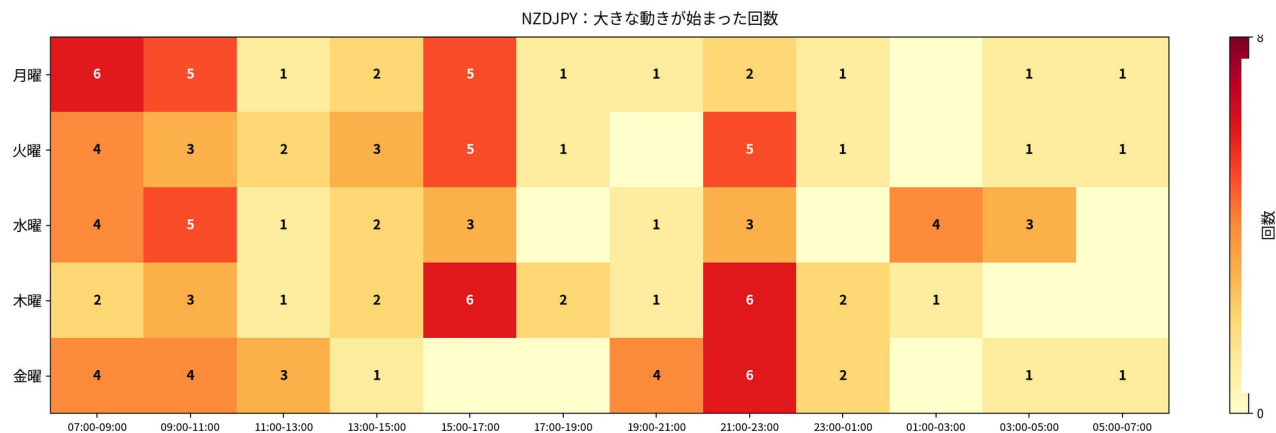


図2 曜日×時間帯の開始回数

読み方のポイント

- 月曜：09:00-11:00、15:00-17:00 が比較的目立ちました。07:00-09:00 は週明け直後を含むため、通常の時間帯とは分けて参考程度に見ます。
- 木曜：15:00-17:00、21:00-23:00 が比較的目立ちました。
- 金曜：21:00-23:00、07:00-09:00、09:00-11:00、19:00-21:00 が比較的目立ちました。
- 色のない時間も動くことはあります。ここでは「比較的集まりやすかった時間」を優先して示しています。

4. トレードへの使い方

このレポートは、毎日同じ時間チャートを見続けるのではなく、見る時間の優先順位を決めるために使います。

- 曜日順位が高い日ほど、「今日は動く可能性が比較的高い日」として意識する。
- その曜日で色が濃い時間を中心に、チャートを見る時間を絞る。
- 予定を調整できる場合は、特徴の強い曜日・時間へ監視時間を寄せる。
- 方向は別途チャートで判断し、このレポートだけで買い・売りを決めない。

調査方法

直近6カ月の値動きを、日本時間 07:00-翌 07:00 で1日として集計しました。各営業日で特に大きな動きが始まった時間を曜日別にまとめ、あわせて大きく動いた日の発生頻度を比較しています。

注意点

- 過去の傾向であり、将来の値動きを保証するものではありません。
- 経済指標、要人発言、突発的なニュースなどで、通常の傾向と異なる動きになることがあります。
- 月曜の早朝は週明け特有の値動きが含まれるため、通常の時間帯とは分けて見てください。

まとめ

大きく動いた日の頻度が最も高かったのは月曜（34.6%）です。木曜の15:00-17:00、21:00-23:00も時間帯の偏りが比較的是っきりしています。曜日順位と合わせて優先度を考えると使いやすくなります。